SOLENOID DRIVING CIRCUIT

Patent number:

JP1109707

Publication date:

1989-04-26

Inventor:

IGAWA YOSHIHARU

Applicant:

SHIROKI CORP

Classification:

- international:

H01F7/18; H01H47/32; H01F7/08; H01H47/22; (IPC1-

7): H01F7/18

- european:

H01F7/18; H01H47/32

Application number: JP19870267129 19871022 Priority number(s): JP19870267129 19871022

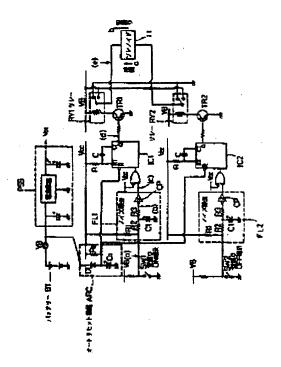
Report a data error here

Also published as:

関 GB2211680 (A)

Abstract of JP1109707

PURPOSE:To enable a solenoid to operate with simple construction with low power consumption, by adapting a solenoid driving circuit such that driving current can be passed in any desired direction for a predetermined period of time for driving the solenoid. CONSTITUTION:A signal generated by handling a first switch SW1 is applied to a first monostable multivibrator circuit IC1 through a noise eliminating circuit FL1 as a trigger signal. A pulse width signal having a predetermined width of time is obtained therefrom. A first relay RY1 is driven for a certain period of time by this pulse width signal and supplies a solenoid 11 with driving current for a specified required period of time. The direction of the current supplied to the solenoid 11 can be reversed by handling a second switch SW2. In this manner, the solenoid 11 can be supplied with driving current in either direction for a specified period of time required for driving well the solenoid, and the solenoid can be driven reliably.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-109707

@Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

43公開 平成1年(1989)4月26日

H 01 F 7/18 3 5 6

8123-5E

(全5頁) 発明の数 1 未請求 審杳讀求

60発明の名称

ソレノイドの駆動回路

頭 昭62-267129 創特

昭62(1987)10月22日 23出

73発

井川

春

神奈川県藤沢市桐原町2番地 白木金属工業株式会社内

白木金属工業株式会社 创出 願 人

神奈川県藤沢市桐原町2番地

弁理士 井島 藤治 ①代 理

外1名

明 部

1. 発明の名称

ソレノイドの駆動回路

- 2. 特許請求の範囲
- (1)ソレノイドと、このソレノイドに流す電流 の方向を指示する第1、第2のスイッチと、 この第1、第2のスイッチの作動によって生 ずる信号を入力とする第1、第2のノイズ除 去回路と、この第1、第2のノイズ除去回路 を軽て波形整形されたパルス信号をトリガ入 カとし、前記ソレノイドを駆動するに必要な 所定時間のパルス幅をもった信号を出力する 第1、第2のモノマルチ回路と、前記ソレノ イドの両端子をそれぞれ電源の正又は負極性 媚に接続する第1、第2のリレーとを備え、

前記第1のモノマルチ回路からの出力パル ス幅信号によって前記第1のリレーを駆動し、 第2のモノマルチ回路からの出力パルス幅信 号によって前記第2のリレーを駆動するよう にしたことを特徴とするソレノイドの駆動回

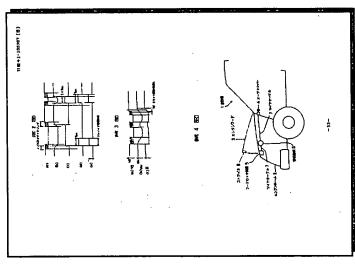
- (2) 第1、第2のモノマルチ回路は、パッテリ - 電源電圧の急変動を検出するオートリセッ ト回路からのリセット信号が印加される特許 請求の範囲第1項記載のソレノイドの駆動回 28 .
- 3. 発明の詳細な説明

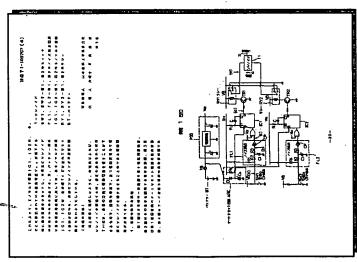
(産業上の利用分野)

本発明は、ソレノイドの駆動回路に関し、更に 詳しくは、自動車のエンジンフードをオープンす るためのオープンレバーと、フードロック装置と の間に介在させるフード空振り機構を作動させる のに用いて有効なソレノイドの駆動回路に関する。

(従来の技術)

第4図は自動車に用いられるフード空振り機構 の動作説明図である。図において、1は自動車で あり、2はそのエンジンルーム、3はエンジンル - ムを覆っているエンジンフードで、通常、車内 のオープンレバー4を操作することによって、破 ぬに示すように開放できるようになっている。 5





BEST AVAILABLE COPY